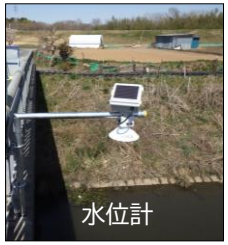
10 水害に備えるためのソフト対策

河川情報の把握と発信

水害に備えるソフト対策として、河川情報の把握と発信は非常に重要です。

把握

河川情報を把握するため、以下の設備を設置しています。また、今後も水位計や河川監視カメラの整備を拡充していきます。


水位計



河川監視カメラ画像
高感度監視カメラによる夜間でも明瞭な映像

（令和７年度末　現在）
水位計　３９４箇所　　河川監視カメラ　２６４箇所　　雨量計　９９箇所

発信

県内の雨量や河川水位等を水防本部室で一元的に把握し、水防警報、洪水予報、土砂災害警戒情報等を市町村に提供します。


水防本部室

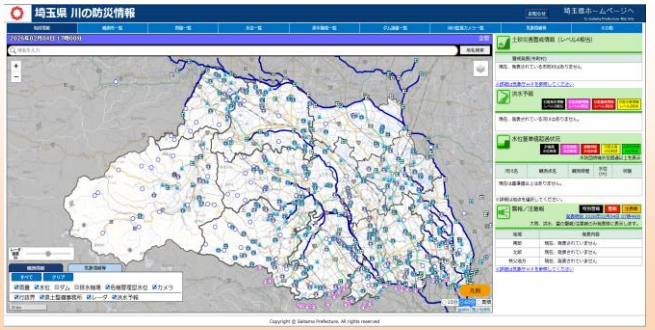

洪水予警報等システム

また、収集した河川情報をインターネットを通じて一般に公開しています。

埼玉県川の防災情報

雨量や水位情報、河川監視カメラ画像など、県内の河川の情報を提供しています。

【アクセスQR】



防災情報の配信

次のシステムで防災情報の配信を行っています。詳細は本誌裏表紙をご覧ください。
・埼玉県川の防災情報メール
・埼玉県LINE公式アカウント

重要水防箇所の点検、防災訓練の実施

関係機関と合同で重要水防箇所の点検、情報伝達訓練、水防演習を実施し、水防体制の強化を図ります。


水防管理団体との合同巡視（福川／熊谷市）



第71回利根川水系・総合水防演習（深谷市）

洪水予報河川の拡大

令和6年度より、円滑な情報発信と避難活動を実現するため、6時間先の河川水位を予測できるモデルを新たに用いて、洪水予報河川を順次拡大しています。

洪水予報河川

洪水予報河川に指定すると、気象庁と共同で洪水予報を発表できるようになります。

洪水予報とは、大雨時の河川の増水に対して、水位の予測や観測情報を用いて、水防活動の判断や住民の避難行動の参考となる「氾濫注意情報」や「氾濫警戒情報」などを発表するものです。

